

“街道テクテク・日光道中” No. 3 (2019-10-20)

参加者：碓貴臣、大田黒鐵彦、太田哲夫、後藤幸子、佐熊範和、角野章之、染谷ミドリ、高野泰三郎、政芳一、黛政男、山岸任、木村芳一

行程：草加→せんげん台 13.5km

草加駅(草加宿)→草加町道路元標→八幡神社→藤代家(明治初期建築、国登録有形文化財)→清水家本陣跡→氷川神社→おせん茶屋公園→東福寺→草加せんべい発祥の地碑→草加宿神明庵(久野家)→綾瀬川・草加松原(松並木)→蒲生の一里塚→清蔵院→照蓮院→香取神社(越ヶ谷宿)→大林寺→香取神社→下間久里香取神社→せんげん台駅近くの居酒屋「さかなや道場」で反省会

・曇りがちな天気の中、草加駅を出発し、芭蕉、曾良の像、および芭蕉、高浜虚子、水原秋桜子の句碑等を見ながら歩きました。

・草加駅近くの八幡神社では、掃除していた地元の人が堂を開けてくれましたので、中に入ることができました。内部には高さ 83cm の雌雄 1 対の獅子頭が置かれていました。これは江戸末期の作ということで、迫力のある見事なものでした。

・草加せんべい発祥の地碑を過ぎると、綾瀬川に沿う遊歩道の両側に 634 本の松が植えられており(草加松原)、気持ちの良い道が形成されていました。1630 年の草加宿の開宿時に植えられ、幾多の変遷を経て、1970 年代に市内の諸団体により補植、維持されたということです。

・今回の立ち寄ったいくつかの神社仏閣の壁面等には素晴らしい彫刻が施されていました。

東福寺：本堂の内外陣境彫刻欄間の“龍”等(島村円哲作)

清蔵院：山門の欄間の“龍”(左甚五郎作? 網で保護しているのであまりよく見えなかった)、虹梁の彫刻等

香取神社：奥殿の外壁の“紺屋の作業風景”等

(木村芳一)

